

# おうとう

第10号  
文責日高洋子



## 平和を考える

8月9日 原爆投下日

長崎に原爆が投下されて79年目の夏が来ました。今年も平和な毎日が続いています。79年前の広島・長崎には今の平和な世の中、豊かな日本の姿が想像できただろうか。とうとう、戦争を直に知っているという高齢者の平均年齢は85歳を越えました。85歳の79年前は6歳です。小学校に入る前の年齢でしょうか。当時の6歳が体験したことなど、どれだけの人か詳細に記憶しているのかと考えると、年々「戦争」が日本で起きていたことすら忘れ去られるのではないかと、戦争を人ごとのように思う若者が

が増えていくのではないかと危機感が拭えませんが。私たちは8月9日という原爆投下日に戦争で得るものはない、悲しみと憤りしか生まない、という思いを、しっかりと後世に伝えていく責任があると思います。

この日に、本校では平和集会を行い、犠牲になった方へ黙祷を捧げ、二度と戦争を起こさないことを誓いました。集会では、各学年1学期から平和学習を進めていたことを発表しました。1年生から3年生まで系統的に長崎・広島から日本、世界へ学習内容を広げました。そして平和を考え、願うだけでなく、動くことはとても大事なことがあること、8月9日だけではなく、恒久的なものであることを再確認しました。

## 県中総体結果 応援ありがとうございました



ソフトテニス部女子ソフトテニス大会が行われました。暑い中、張り切った試合が展開されました。

7月21日〜22日に長崎県中学校総合体育大会が開催され、猛暑の中、熱戦が続きました。本校からは陸上、柔道、ソフトテニスが出場しました。陸上では、山田陽向さん(1年)が800m位、1000m準選敗退、餌網代憲辰さん(3年)1000m準選敗退、黒川愛唯さん(3年)が2000m6着、1000m4着、田中千之助さん(2年)が3000m12着、1500m11着、1年女子、共通女子、共通男子の4000m11着、1年女子、共通女子、ソフトテニス女子団体2回戦敗退、個人戦久保小百合、谷合美紀ペア、2回戦敗退、男子個人戦、松本湊、道下哲司ペア1回戦敗退、柔道個人戦、66kg級大野瑛太さん(3年)が準優勝でした。九州大会は地震の影響で中止となりました。

## 私たちにできること

日本では太平洋戦争終戦後に、日本国憲法で二度と戦争しないことが決められました。ですからこれまで日本では戦争がありません。しかし、世界のあちこちでは紛争がおさまらず、その犠牲になっっている子ども達がたくさんいます。その事実を『目をつぶらずにしっかりと見ること、そして考えること、知ること』は私たちができることの一つです。さらに私たちの日常に小さな、戦争の種がないかを見つけておくことも大事なことです。人に意地悪をしたり、悪口を言ったりすることは、争いごとを引き起こす小さな種です。私たちができることはそんなことをしっかりと自覚し、人権感覚を磨くこと、そして発信することなのです。

## 8月9日を数値で見ると

長崎と広島の中高中生に原爆の意識調査をしたデータがあります。長崎の中高中生は原爆投下日と時間について約89%が正しく答えられたのですが、広島は原爆投下日、時間を正しく答えられたのは約64%だったそうです。また、同じことを広島の中高中生にも調査したところ広島を知らないのは約85%、長崎を知っていたのは49%です。長崎については半数を切りました。被爆者の声を直接聞けなくなる昨今、若い世代に「継承」していくことは大きな課題です。もし、戦争を体験している方が近くにおられたら、ぜひ子ども達に平和の尊さについてお話いただければと思っています。

## 校長室から

ここ数年、8月9日の長崎新聞には大きな見開きの広告が掲載されています。平和を訴える広告です。コロナ禍にあつて、平和祈念式典に出られなかった年には、「今年の祈りは自宅です」と【平和公園の地面】を大きく掲載しその石畳を自宅に敷いて平和を祈ることや、3年前には一面に黒い丸(●)を1万3000個描き、最後の2つの丸が赤く塗られています。この黒い丸は現在、世界に存在していると言われる核兵器の数を表し、その中の2発が唯一広島・長崎で使用された、というものです。衝撃的な広告に平和を考えるきっかけになります。さて、今年の新聞の広告は？